

令和7年度栃木県糖尿病重症化予防プログラム研修会 開催要領

1. 目的

栃木県の人口 10 万人あたりの糖尿病患者数は 5,640 人で全国値の 4,441 人より多く、令和2年の 4,296 人より約 1.3 倍に増加している。(患者調査)^{*1} また、糖尿病性腎症による年間透析導入患者数は、354 人（令和5年栃木県臓器移植推進協会調べ）であり、新規透析導入患者の 4 割以上を占めている。このため糖尿病患者数増加の抑制、日常生活に支障をきたす合併症や重症化予防が課題になっている。

このような中、国の「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の改定を踏まえ、受診勧奨、保健指導をより一層強化するとともに、糖尿病対策と慢性腎臓病（CKD）対策の連携、対象者の年齢層に応じた取組みの実施を基本的な考え方として、「栃木県糖尿病重症化予防プログラム」（以下「プログラム」という）が令和7年9月に改定された。

このため、今年度の研修会では、改定されたプログラムについて周知を図るとともに、糖尿病の病態に応じた対象者への動機づけや行動変容を促す知識・技術を習得し、プログラムの推進に寄与することを目的とする。

*1：国の患者調査(人口千人対)の結果をもとに、県が独自に人口 10 万対で算出したもの。

2. 実施主体

栃木県保険者協議会及び栃木県国民健康保険団体連合会

3. 開催日時

令和7年12月16日（火） 13：30～16：00（受付 13：15～）

4. 開催方法

【第1部】ハイブリット形式 【第2部】集合形式 定員 60 名程度

5. 開催場所

栃木県総合文化センター 第1会議室
(〒320-8530 宇都宮市本町1-8)

6. 対象者

- ・栃木県保険者協議会構成団体（各医療保険者）に所属する担当職員
- 【第1部】事業を担当する事務職員、専門職員（保健師、管理栄養士等）
- 【第2部】事業を担当する専門職員（保健師、管理栄養士等）

7. 研修内容

【第1部】

行政説明 「栃木県糖尿病重症化予防プログラムの改定について」

【第2部】

講演 「伝え方で変わる！糖尿病重症化予防の保健指導
～病態・生活背景に応じた支援のコツと実践～」（仮）

講師 医療法人社団亮仁会 那須中央病院 糖尿病看護特定認定看護師 橋本祐子 氏

(ねらい)

- ・病態別支援のポイント、受診中断の背景を理解する。
- ・事例をとおして、病態や生活背景をふまえた個別支援の工夫を学び、対象者の行動変容を引き出す保健指導のスキルを高める。

8. 日程及び習得目標

別紙日程表のとおり

9. その他

- ・【第2部】については、第1部に引き続いて専門職員を対象としていますが、事務職員の参加も可能です。

(別紙)

令和7年度栃木県糖尿病重症化予防プログラム研修会 日程表

時 間	内 容
13：10～13：30	受 付 オリエンテーション
13：30～13：35	開 会 あいさつ
13：35～14：00 (25分) ※質疑応答含む	<p>【第1部】 行政説明 「栃木県糖尿病重症化予防プログラムの改定について」</p> <p>栃木県保健福祉部健康増進課 がん・生活習慣病担当主任 若林 奈々恵氏</p>
	<p>習得目標：</p> <p>① プログラム改定の主旨及び内容について理解することができる。</p>
14：00～15：50 (110分) ※質疑応答含む	<p>【第2部】 講演 「伝え方で変わる！糖尿病重症化予防の保健指導 ～病態・生活背景に応じた支援のコツと実践～（仮）</p> <p>講師 医療法人社団亮仁会那須中央病院 糖尿病看護特定認定看護師 橋本 祐子 氏</p>
	<p>習得目標：</p> <p>② 糖尿病の病態に応じた保健指導のポイントについて説明ができる。 ③ 対象者の行動変容に繋げるための保健指導のポイントについて説明できる。</p>
15：50～16：00	その他の事項
16：00	閉 会